

地理  
初步

K110.25  
69

K110.25

69

師範學校編輯  
文部省刊行

# 地理初步

明治七年  
八月改正

静岡縣重刻



地理初步

第一  
人民居住スル所ノ地球ハ一ノ行星ニシテ其形

圓トシテ殆橙ノ如シ

地球ノ中徑ハ東西凡三千二百三十四里ニシテ

其周圍ハ一萬零百三十五里ナリ南北凡三千

二百二十三里ニシテ其周圍ハ一萬零百三十里

ナリ

此地球表面ノ事ヲ知り得ル學ヲオグラフイ

ト云フ

地理初步

文部省

ゼオグラフィートハ即地理學ト云フ義ニシテ地球表面ノ事ヲ説キ明スナリ  
 地理學ニ三種アリ○ナ左トラルゼオグラフィマセマナカルト云フ○ナ左トラルゼオグラフィハ地形、山川、海島ナドノ自然ニ由ルモノヲ説キ明ス學ナリ○ボリチカルゼオグラフィハ都府、郡縣、城市ナドノ政治ヨリ出ルモノヲ説キ明ス學ナリ○マセマナカルゼオグラフィハ地球ノ運動、方角、里數ナドノ數學ニ關スルモノヲ説キ明ス學ナリ

第二

人民ノ住居スル所ハ地球ノ外面ナリ  
 地球ノ外面ハ陸ト水トニヨリテ成レルナリ然レトモ、水ト陸トハ其大サ同シカラスシテ、水ハ陸ニ比ブレハ殆三倍ノ大サアリ  
 地球ノ外面ニアル陸ト水トヲ示ス圖ヲ地圖ト云フ、其地圖ニハ、全地球ヲ示ス者アリ或ハ半面ヲ示スモノアリ  
 地圖ヲ東西ニ分テテ東ノ半面ヲ示シタルヲ東半球ノ圖ト云ヒ、西ノ半面ヲ示シタルヲ西半球

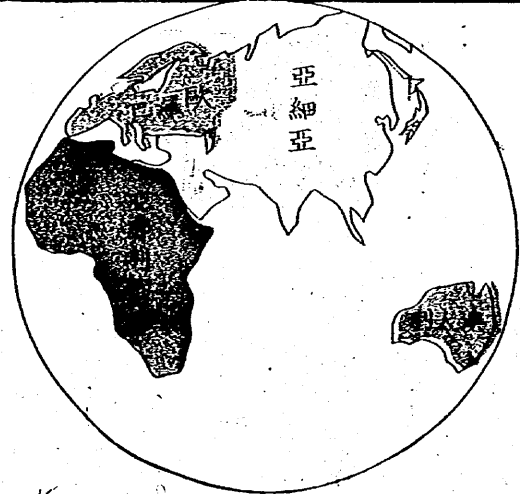
地球初歩

三

ノ圖ト云ス

東半球圖

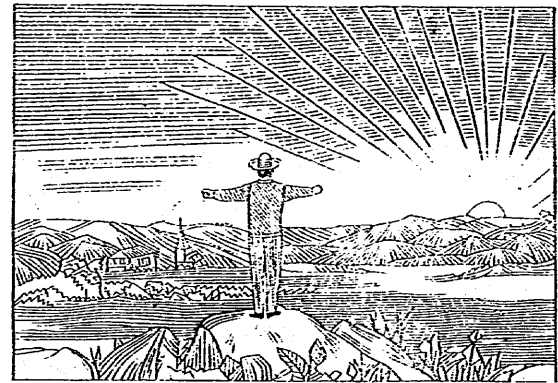
西半球圖



第三

地球ニ四個ノ方位アリコレヲ東西南北ト云ス

今圖ヲ以テ東西南北ヲ示サ



此小兒ノ右ノ手ハ朝日ノ方  
 ヲ指シ左ノ手ハ夕日ノ方ヲ  
 指セリ是小兒ノ右ヲ東トシ  
 小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル  
 ヘシ然ラバ小兒ノ背ハ南ニ  
 シテ面ハ北ニ向ヘリ

地理初歩

三

地球初歩

地球儀

ノ圖一云ス

東半球圖

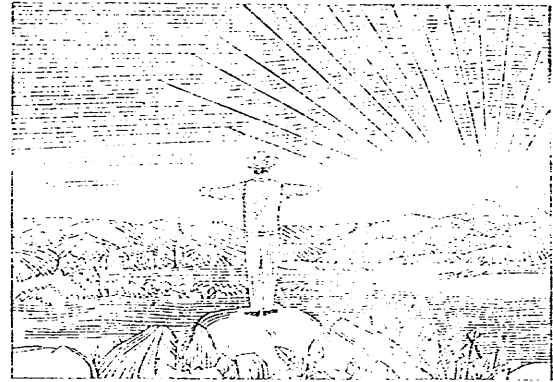


西半球圖



第三

地球六四個ノ方位アリ、コレヲ東西南南北ト云ス



今圖ヲ以テ東西南南北ヲ示サ  
 此小兒ノ右ノ手ハ朝日ノ方  
 ヲ指シ、左ノ手ハ夕日ノ方ヲ  
 指セリ、是小兒ノ右ヲ東トシ、  
 小兒ノ左ヲ西トスルヲ知ル  
 ヘシ、然ラバ、小兒ノ背ハ南ニ  
 シテ、面ハ北ニ向ヘリ

地球儀

三

地球儀

此方位ヲ地球ノ四方ト云ス

第四

東西南北ニ又中間ノ方位アリ東北西北東南西南是ナリ

地球ノ中彩色ヲ施セル部分ヲ陸トス其白キ者ハ水ナリ

爰ニ畫ケルハ地球上ノ三大陸ニシテ其周邊ハ大洋ナリ大洋トハ海ノ大ナル者ヲ云フ三大陸ハ東大陸西大陸及澳大利ニシテ東大陸又分チテ三大洲トスコレニ西大陸及澳大利ヲ合セテ

五大洲ト稱ス

五大洲ノ中四大洲ハ東半球ニアリ亞細亞 歐羅巴 澳大利 亞弗利加ノ四洲即是ナリ 西半球ニ在ル大陸ハ北亞米利加 南亞米利加ナリ

此五大洲ノ中尤大ナルモノハ亞細亞ニシテ尤小ナルモノハ澳大利ナリ

此東西ニ球ヲ合セテ全地球トス

第五

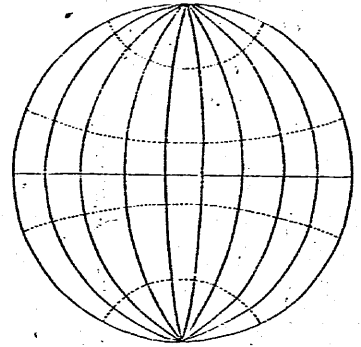
地圖ノ頂上ニ偏リタルヲ北部ノ國ト云ヒ右傍

ニ在ルヲ、東部ノ國ト云ス、下方ハ南部ノ國ニシテ、左傍ハ稱シテ、西部ノ國ト云ヘリ  
 地球ノ表面ニ、縱横ノ線アリ、其南北ニ、引キタル線ヲ、經線ト云ヒ、東西ニ、引キタル線ヲ、緯線ト云フ、緯線中央ニ在ル者ヲ、赤道トス、  
 緯線ハ、地球ヲ一周スル所ノ圓ニシテ、等シク其間ヲ畫スルヲ以テ、南北ニ至ルニ隨ヒ、其周圍漸小トナルナリ、○經線ハ、皆南北ノ極ヨリ、引キ出ダシタル圓ナルヲ以テ、其長サハ、同シト雖、兩線ノ間、各差違アリ

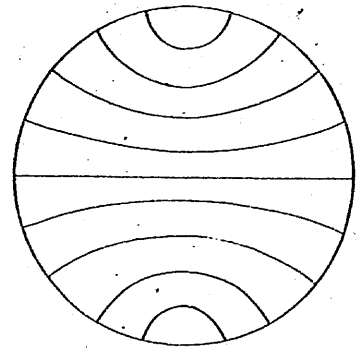
此經緯ノ線ハ、各三百六十アリテ、線ト線トノ間ヲ一度ト云ス、  
 此緯線ノ度ヲ數フルニハ、赤道ヨリ數ヘテ、南北ニ至ルナリ、假如ヘバ、赤道ヲ零度ト定メテ、ソレヨリ北ヘ、二線ヲ隔ツレバ、北緯二度ト云ヒ、南ヘ、三線ヲ隔ツレバ、南緯三度ト云フノ類ナリ、但經線ニハ、其本ト定ムベキ所ナシ、我國ニテハ、東京ヲ本トシ、コレヨリ、西經幾度、東經幾度ト數フルナリ、  
 赤道ヨリ、南北共ニ、二十三度半ニシテ、各一線アリ

リ、北ニアルヲ夏至線ト云ヒ、南ニアルヲ冬至線  
 ト云フ、此ニ線ノ間ハ、氣候、極メテ熱シ、故ニ稱シ  
 テ、熱帶ノ地ト云フ○南北ノ極ヨリ、二十三度半  
 ニレテ、各一線アリ、北ニアルヲ北極線ト云ヒ、南  
 ニアルヲ南極線ト云フ、此ニ線ト、南北極ノ間ハ  
 氣候、極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト稱ス○極線ト、  
 二至線トノ間ハ、其氣候、寒暖中ヲ得ルニ因リ、稱  
 シテ、中帶ノ地ト云フナリ

經線圖



緯線圖



第六

地球上ニ、五大洋アリ、太平洋、大西洋、印度洋、南冰  
 洋、北冰洋ナリ、

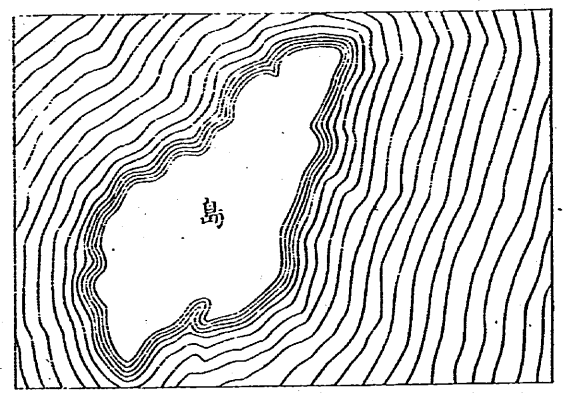


北冰洋ハ、西半球ト、東半球トノ北部ニ在ルヲ云  
 フ○太平洋ハ、東半球ノ、東部ト、西半球ノ、西部ト  
 テ在ルヲ云フ○印度洋ハ、東半球ノ、中央ニアリ  
 ○南冰洋ハ、西半球ト、東半球トノ南方ニアリ○  
 大西洋ハ、西半球ノ、東部ト、東半球ノ、西部トニア  
 ルヲ云フナリ○此五大洋、其在ル所ノ地方ヲ以  
 テ言ヘバ、北冰洋ハ、北亞米利加ノ、北ト、歐羅巴、及  
 亞細亞トノ、北ニアリ大西洋ハ、亞細亞ノ、東ト、南  
 北亞米利加トノ、西ニアリ印度洋ハ、亞弗利加ノ、  
 東ニアリ大西洋ハ、歐羅巴ト、亞弗利加トノ、西ニ

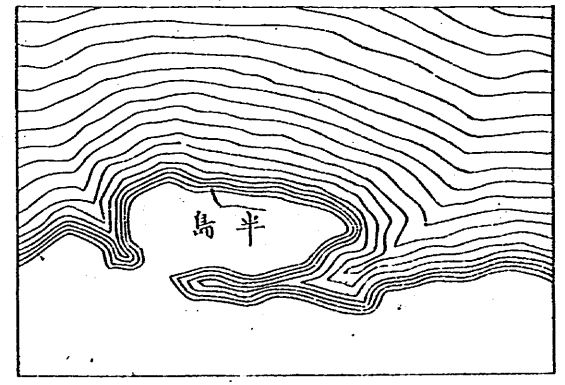
アリ

第七

島 圖



半島 圖

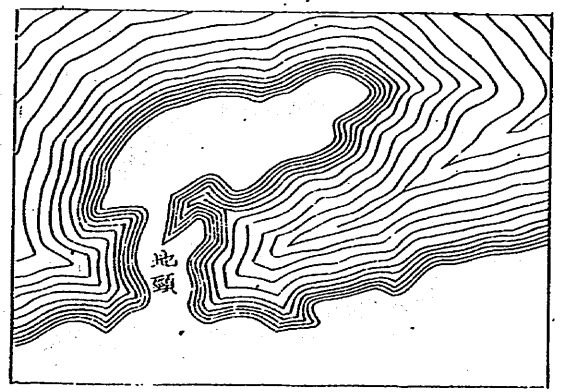


水四周ニ圍ミタル地ヲ島ト云フ、其形ハ、三大陸ニ同シト雖、小ナルヲ以テ名ヲ異ニセルナリ

大陸ニ續キタルヲ半島ト云フ、

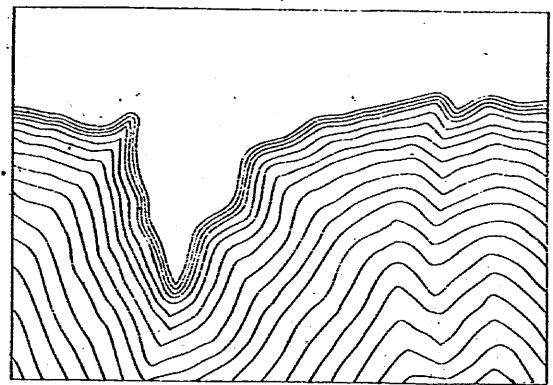
半島ト大陸ト、續キタル、其間ノ細クシテ且長キ地ヲ地頸ト云フ、大地ノ一角、尖ヲナシテ遠ク海中ニ突キ出デタ

地頸圖

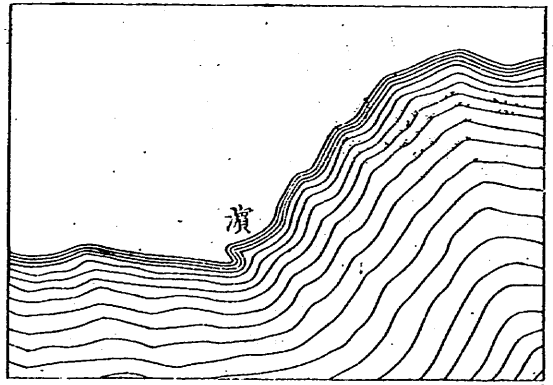


ル所ヲ崎ト云フ、

崎圖



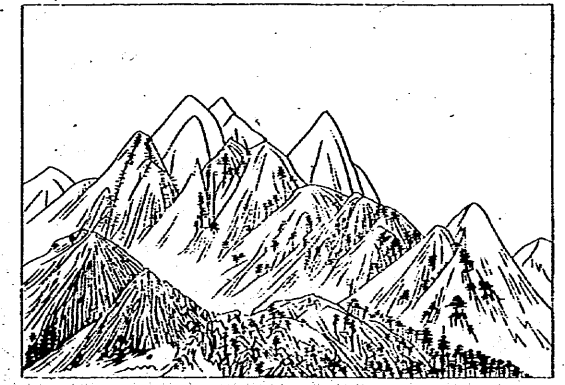
濱圖



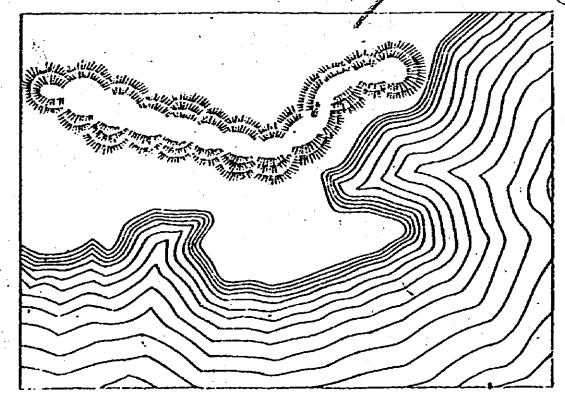
陸地ノ長ク海ニ沿ヒタル所ヲ濱ト云フ、

陸地上ニ、土石、高ク起ルモ、ノス山ト云フ、  
 山ノ、較小ニシテ、低キ者ヲ岡ト云フ、

山 圖



嶺 圖



兩山ノ間ヲ谷ト云フ、  
 山々相接シテ、長ク且、  
 山嶺或ハ山背ニ、穴アリテ、  
 常ニ火烟ヲ噴キ出ダスヲ火山ト云フ、  
 火山ハ、時アリテ、  
 燒石、浮石等ヲ噴キ出ダス者ナリ、  
 地ノ廣平ナル者ヲ原ト云フ、

火山 圖

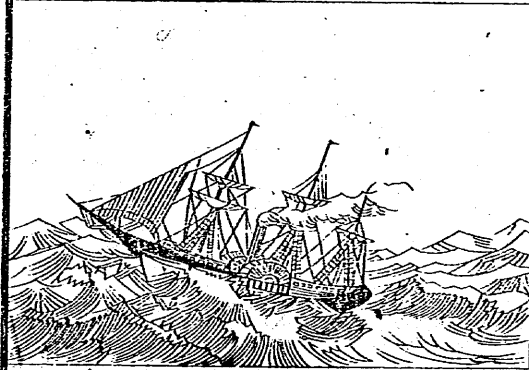


至ル所、皆沙ニシテ、水草ナキヲ、沙漠ト云ス。

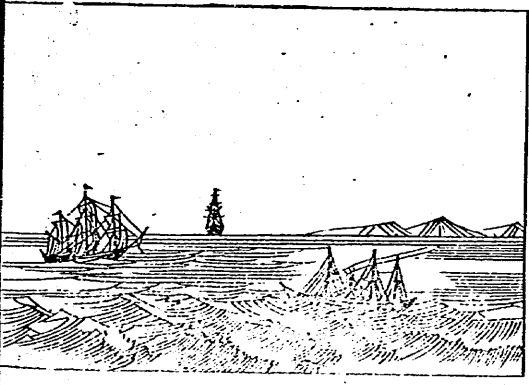
第八

大洋トハ、海ノ廣大ナルモノヲ云ス。

大洋圖

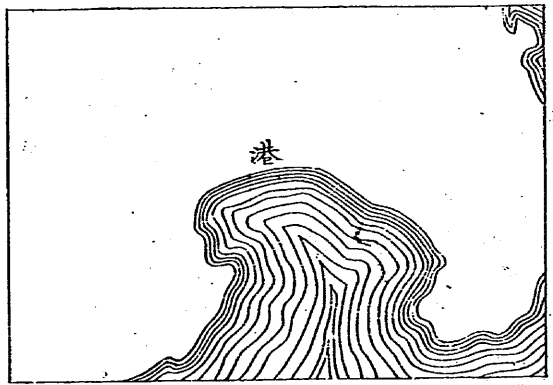


海圖

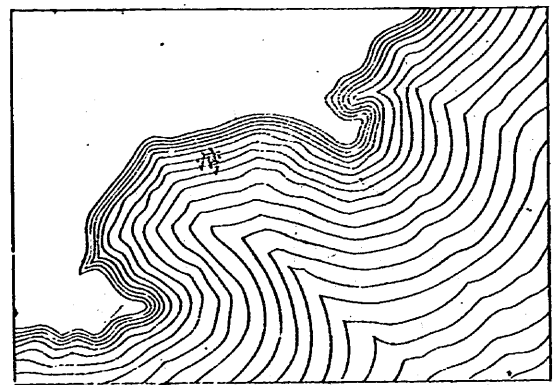


海トハ、兩陸ノ間ニ介マリタル所ヲ云フ即大洋ノ分レタルナリ。

港圖



灣圖



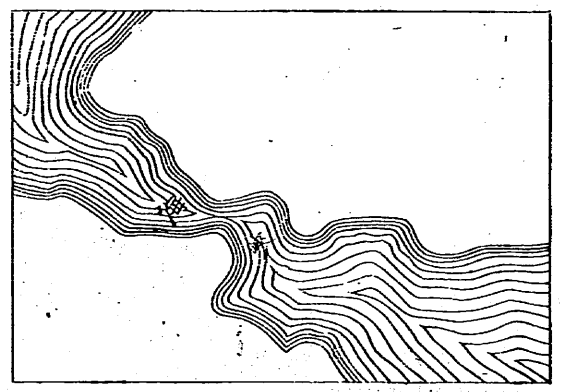
地理切表

十

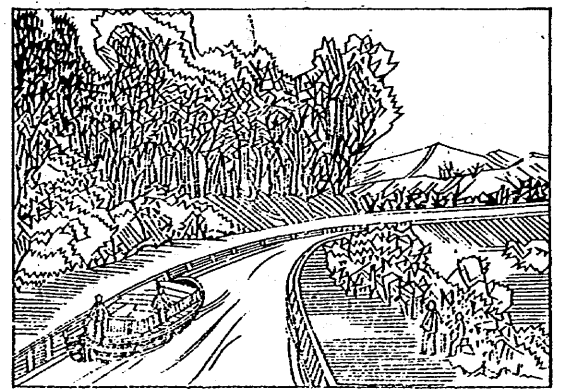
大那省

海ノ深ク陸地ニ入りテ船ヲ泊スルニ便ナル處  
ヲ港ト云ス

海峽圖



溝圖



水ノ陸地ニ入りテ灣ト云ス

陸地ノ間ニアリテ海水互ニ相通スル狹キ所ヲ

海峽ト云ス

溝ハ人工ヲ以テ鑿テ

通レタル者ニレテ物

ヲ運漕スルニ用井ル

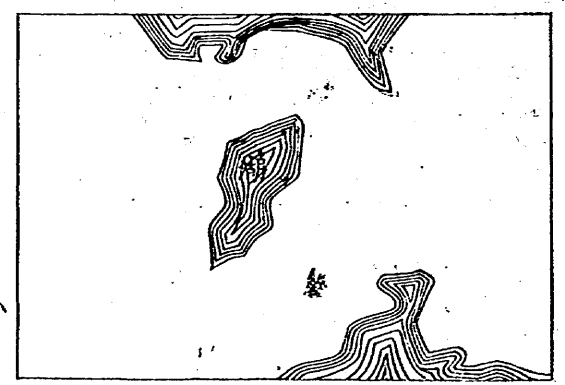
水流ナリ

四面全ク陸地ヲ以テ

圍ミタル處ヲ湖ト云

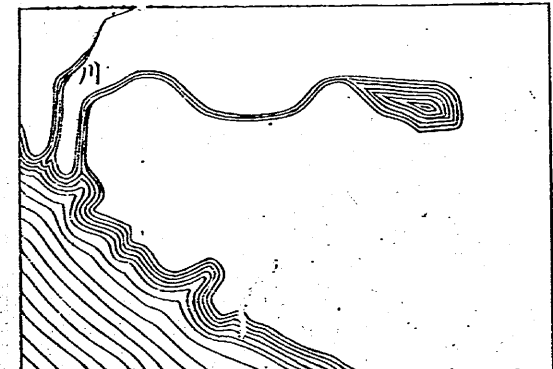
ス其中或ハ一方河海

湖圖

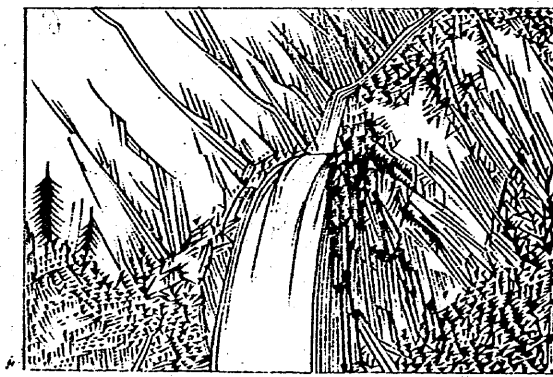


ニ通ズルモノアリ  
川ハ、陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云スノ

川 圖



瀑 圖



川水ノ始メテ、流レ出ヅル所、又源ト云ス、  
其流、小ナルモノヲ云フ、小川ト云フ、マタ深廣ニシテ、  
大船ノ往來スベキモノヲ大河ト云フ、  
水ノ山上、或ハ高キ所ヨリ、急ニ、低キ地ニ、落チ下  
タルモノヲ、瀑ト云ス、

地理初歩終

地理初歩

三十一

七ノ下

K110,25-69

静岡縣翻刻御書藉賣捌所

鹿島縣士族

吉井清秀

東京府第五區小區榎物町  
三番地寄附

逸見義切

静岡縣駿河國第六區小區静岡  
江川町二十三番地寄附

美濃部義備

静岡縣遠江國第十三區小區  
濱松市城内十四番地

一貫社

同縣同國同大區小區濱松宿連寄

明治十年十一月十日御届

静岡縣士族

同年十二月二十五日刻成

同

六音

定價壹錢八厘

